

サヤトレLSレポート

2016年8月14日発行



サヤトレ LS レポートとは

サヤトレ LS レポートは、投資分析システムのサヤトレ LS において運営にて検証分析を行い、投資結果及び考察をお伝えしサヤトレ LS のご活用方法を会員様の投資にお役立ていただくための投資レポートです。

「サヤトレ LS をどう投資に活用していいかわからない？」

上記のようなお客様を解決するために投資の実例を用いながら損益合成チャートの使い方や投資戦略の解説を行ってまいります。

運営が検証する投資結果と考察が会員様のお役に立てばいただければ幸いです。

また本レポートは定期発行しているので直近ご入会された会員様は、サヤトレ LS のマイページより過去のレポートを読む事も可能です。

本レポートの末尾に「新規会員様向け」の復習としてロングショート戦略の基本的な解説も記載しておりますのでご参考にしてください。

■サヤトレ LS のマイページ

<https://sayatrade.com/mypage/>

本レポートは投資を推奨するものではなく、お客様ご自身の投資結果において、弊社はいかなる責任も取ることは出来ません。

投資における決断結果は投資家ご自身の自己責任である事をご理解ご認識よろしく申し上げます。

投資検証の環境について

■ 運用資金：約 100 万円

FX 口座（現在：約 0 万円）

株式 & 先物口座（現在：約 100 万円）

■ FX 取引会社：ヒロセ通商

⇒ <http://investars.jp/about/lionfx.html>

■ 株式 & 先物取引会社：ライブスター証券

⇒ <http://www.live-sec.co.jp/>

運用資金が多いほどリスクを抑えた有利な運用が可能ですが

個人投資家が実践出来る**小額資金として 100 万円**での検証としております。

両建てヘッジをしてリスクを抑えておりますがレバレッジをかけた運用なので
予想とは逆に推移した場合の損失が大きくなるケースも十分にございます。

投資家ご自身の運用資金の中からリスク許容度に合わせたレバレッジで
「リスク管理」を行なった取引をしていただく事をお勧めいたします。

最低の運用資金 100 万円でもプロ投資家が行なう投資戦略を

個人投資家でも実践出来ることをイメージいただければ幸いです。

FX ロングショートの結果と考察

【約定価格】 2月12日仕掛け～7月14日決済

■豪ドル/円	買い	1万通貨	約定価格 80.128	→	79.283
■NZドル/円	買い	1万通貨	約定価格 75.159	→	75.954
■加ドル/円	売り	2万通貨	約定価格 80.851	→	80.485

【損益合成の結果】

	損益	(スワップ)	最終損益
■豪ドル/円	-8,450円	(7,650円)	-800円
■NZドル/円	7,950円	(9,180円)	17,130円
■加ドル/円	7,320円	(-7,992円)	-672円

$(-800円) + (17,130円) + (-672円) = \text{合計投資損益}$

FX ロングショートの結果合計投資損益 = **15,658円**

FX の証拠金 30 万円の利回り **+5.22%** (保有期間は約 5 ヶ月)

【考察】

本レポートの運用をスタートするにあたり

第 1 回目の仕掛けが今回の FX ロングショートです。

先月 7 月のレポートにて直近の高値近辺から利益確定を狙っていると

お伝えしておりました通り 7 月 14 日に利益確定を行い全て決済しました。

7月のレポート発行時にはトータルの利益は+24,138円ありましたが最終的なトータルの利益は **15,658円** で終了しております。

FXの運用資金は30万円でしたので利回りに換算すると**+5.22%**です。

【利益確定を示唆した7月レポートの損益合成チャート】



今回の取引において保有していた5ヶ月間は、もちろん何もしてありません。

ほったらかしていただけです。

その間にイギリスのEU離脱が決定するなど金融市場は混乱していましたが損益合成もしっかりとヘッジされてトレンドの範囲内で安定した値動きとなっております。

過去のLSレポートと会員限定メルマガ「サヤ取り通信」を時系列にお読みいただいている方は、今回の取引の流れが分かると思いますが直近のキャンペーンにてご入会され、初めての方も多いと思うので仕掛けを行なった2月12日から決済までの流れを再度振り返らせていただきます。

過去の直近分のLSレポートはサヤトレLSのマイページより読む事が可能です。

■サヤトレLSのマイページ

<https://sayatrade.com/mypage/>

【仕掛けから決済まで】

今回のFXロングショートは、高金利通貨の豪ドル/円とNZドル/円を1万ずつ買い、その価格変動をヘッジする目的として金利が低く相関性の高い加ドル/円を2万売りヘッジをしています。

ロングショート仕掛けを行なったのは2月12日です。

仕掛けを行なう際にテクニカル分析として1年（日足）チャートでMACDのゴールデンクロス タイミングにしておりますが、当時のレポートでも伝えている通り3年（週足）チャートで見ると仕掛けのタイミングはよくありません。

■サヤトレLSレポート（2月21日発行）

<https://sayatrade.com/reports/ls20160221.pdf>

【2月12日仕掛け時点の1年（日足）損益合成チャート】



MACD がゴールデンクロスしているが・・・

【2月12日仕掛け時点の3年（週足）損益合成チャート】



3年の週足で確認すると高値近辺にある事が分かります。

この組み合わせに関しては、数ヶ月周期のトレンドを利用して稼ぐロングショートですので1年（日足）チャートではなく3年～5年（週足）チャートでトレンドを確認するのがお勧めです。（保有期間は数ヶ月です）

そして実際に仕掛けからトータル損益は評価損が続きます。

しかし運営としては、このロングショートは、過去のトレンドの底値付近で止まりいずれトレンドは反転すると予測しておりました。

途中の経過に関しても過去のレポートをお読みいただくと分かるかと思えます。

■6月LSレポート

<https://saytrade.com/reports/ls20160617-a5795.pdf>

【6月の損益合成チャート】



その後6月にトレンドは反転して7月のレポートにて直近1年の高値付近に到達したので利益確定を行った流れとなっております。

以上が仕掛けから5ヶ月間の流れの簡単な解説です。

【まとめ】

保有して評価損の途中も繰り返しお伝えしてきましたが今回のFXロングショートの組み合わせに関しては**3年か5年（週足）チャートでトレンドを確認して仕掛けを行なうとより精度は高くなり、スワップ&為替差益も狙えそうです。**

特に週足チャートでRSIが30を割り込んで再度上抜けたタイミングなどは初めての方でも分かりやすい仕掛けのタイミングであると考えております。

■直近の5年損益合成チャート（8月14日）



そして直近 5 年の損益合成チャートを確認すると分かると思いますが現在の位置は、過去のトレンドから判断すると高値近辺にある事が分かると思います。

よって現在・・・

保有中の方：利益確定の良いタイミング

保有していない方：仕掛けてはいけないタイミング

上記の事が言えるのではないのでしょうか？

FX は最高レバレッジが 25 倍と非常に高いのでどこまでリスクを取るかが個人投資家としての決断で最も難しい点と言えるでしょう。

ロングショートはヘッジが効いているので通常の片張りよりも半分程度のリスクになるとイメージしていただいているのですが大きくレバレッジを賭けすぎて途中のドローダウンで資金が無くなってしまいう可能性も十分にあります。

今回の検証は、かなりハイレバレッジな取引となっています。

仕掛けのタイミングが悪かったのもありますが仕掛けるタイミングを計りリスク管理と損切りを行なえばチャンスの多い組み合わせではないのでしょうか？

今回の検証がお客様の参考になれば幸いです。

検証中の株式ロングショート（マーケットニュートラル戦略）

【現在のポートフォリオ】 6月17日～

【売り】	225 先物ミニ（9月限）	1 枚	約定価格 1,565 円
【買い】	4506 大日本住友製薬	200 株	約定価格 1,661 円
【買い】	2432 ディー・エヌ・エー	200 株	約定価格 2,245 円
【買い】	4021 日産化学	100 株	約定価格 3,185 円
【買い】	9437 NTT ドコモ	100 株	約定価格 2,799.5 円

【直近ポートフォリオの損益状況】

【売り】	225 先物ミニ（9月限）	-126,500 円（+8.08%）
【買い】	4506 大日本住友製薬	+38,800 円（+11.68%）
【買い】	2432 ディー・エヌ・エー	+138,000 円（+30.73%）
【買い】	4021 日産化学	-1,500 円（-0.47%）
【買い】	9437 NTT ドコモ	-8,000 円（-2.86%）
		合計損益 = +40,800 円

【過去決済した銘柄】 6月17日～

【買い】	6770 アルプス電気	-22,800 円（-10.47%）
【買い】	4704 トレンドマイクロ	-6,500 円（-1.80%）
【買い】	5332 TOTO	-9,700 円（-2.42%）
		合計損益 = -39,000 円

【仕掛けについて】

日経平均のインデックス指数をショート（空売り）として固定
買いの個別銘柄は、225 銘柄から好業績の株価推移が堅調な銘柄に投資

順張りで個別 4~5 銘柄に投資する事で日経平均のアウトパフォーマンスを狙う。

【決済について】

個別銘柄のパフォーマンスを日経平均との騰落率を比較して判断

■ アウトパフォーマンスの場合

引き続き継続して保有して利益を伸ばす。

大きくアウトパフォーマンスした場合の利益確定を行なうが
日経平均を上回るアウトパフォーマンス率は現在も模索中です。

運営の過去検証データとしてはインデックス指数を 15%程度が目安？

■ アンダーパフォーマンスの場合

仕掛け日からの日経平均と比較してアンダーパフォーマンスしている銘柄を
損切り候補として他の個別銘柄と交換、目安は-10%（仮）

【直近 1 年の損益合成チャート】



【直近 1 年の騰落率比較チャート】



■ポートフォリオの考察

株式マーケットニュートラル戦略ですが先月の7月レポートまで+10万円以上（利回り 12.88%）と絶好調でしたがその後大きく崩れ状況は変わりました。

トータルの損益結果としては、日経平均先物の空売りを仕掛けた6月17日を基準として損益は、ほぼトントンになっております。

現在のポートフォリオ損益合計：+40,800円

過去に決済した銘柄の損益合計：-39,000円

保有していた（5332）TOTOが大きく下落して要因などもあり絶好調だった損益結果としてはスタートに戻されたイメージです。

そして日刊メルマガおよび会員限定メルマガでもお伝えさせていただきましたが検証中のマーケットニュートラル戦略において投資方針を少し変更しました。

従来は個別に買う4銘柄は、割安な銘柄や割高な銘柄など真逆の要素を織り交ぜた銘柄を組入れる事でヘッジの効果を高めた運用を目指しておりました。

しかし上記のような持ち方の場合、投資結果において何が良かったのか悪かったのか判断する事を難しいために、運営側にて「**好業績銘柄の順張り**」という1つの明確な投資方針を制定して4銘柄に分散投資する事に決定しました。

それに従い、会員限定メルマガでもお伝えしている通り8月3日の寄り付きにて(4704)トレンドマイクロと(5332)TOTOを決済して新しく(4021)日産化学と(9437)NTTドコモに交換しております。

買いの個別銘柄を「好業績銘柄の順張り」にする事に関しては分かりやすいテーマになりましたがメリット・デメリットがあります。

メリットとしては、株価が堅調ですのでそのトレンドに乗り日経平均をアウトパフォームする確率が高いという事です。

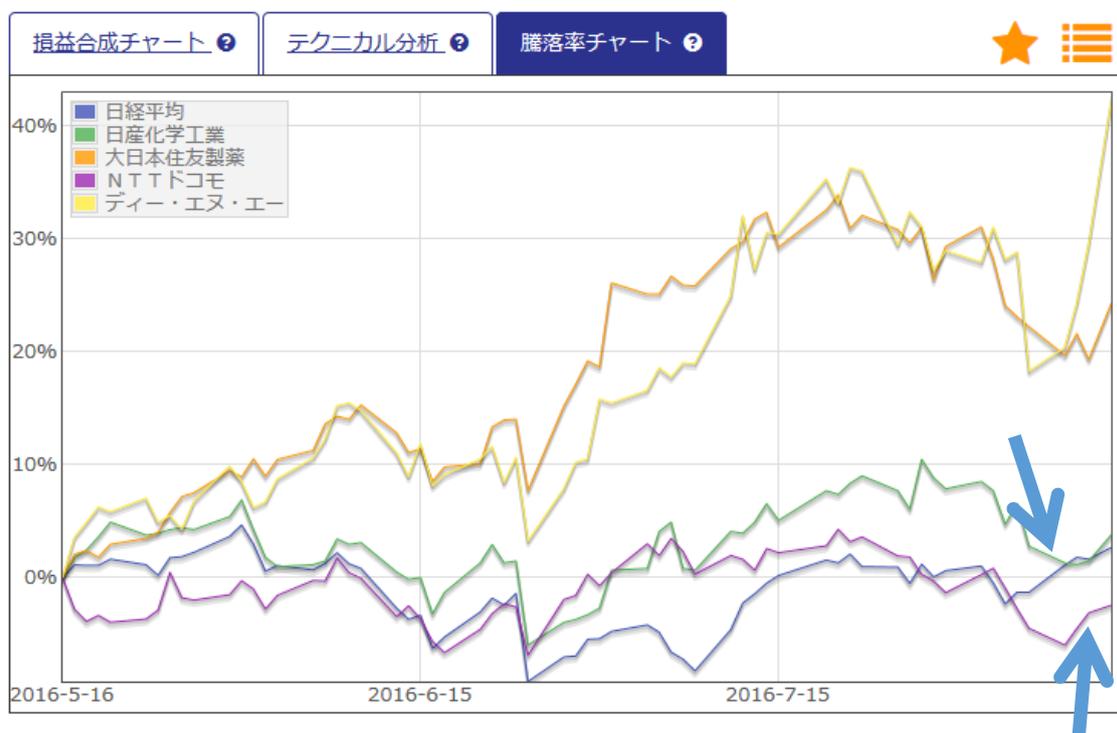
保有中の(2432)ディー・エヌ・エーのように大きくな上昇も期待出来ます。

デメリットは、すでに株価が高くなっている分、何かしらの材料で利益確定が出た際に割高判断で株価が大きく下落してしまうリスクがあるという点です。

デメリットを出来るだけ防げるような損切りのルールを今後の検証を通じて、運営一同模索してまいります。

「好業績銘柄の順張り」作戦が吉と出るか凶とでるか分かりませんが引き続き検証を続けて投資結果をご報告してまいりますので会員様の投資にお役立ていただければ幸いです。

【直近 3 ヶ月の騰落率比較チャート】



また直近は、先月まで投資成績が好調だった
大日本住友製薬のパフォーマンスが低下傾向にあります。

過去の日経平均とのパフォーマンスの比較データを確認して運営で検証する限り日経平均との騰落率を+10%以上上回るとパフォーマンスが低下し始めるように感じております。

しかしディー・エヌ・エーのように大きくアウトパフォームを
続ける銘柄があるので利益確定の見極めがとても難しいところです。

裁量での利益確定は、個人投資家にとって困難ですので引き続きベターな
利確水準を検証しつつシステムチックな売買ルールを模索してまいります。

【マーケットニュートラルの取引ルール（仮）】

■ インデックス指数の先物を売り（ショート）

225 先物ミニを 1 枚売り

（投資金額は約 150～160 万円分のショートとなります。）

■ 好業績決算で株価推移が堅調な個別株を 4 銘柄に分散して買い（ロング）

銘柄 1：RSI が高い銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 2：一目均衡雲抜け銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 3：信用倍率が低い銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 4：安値から上昇率が大きい銘柄（詳細条件は後述）

$(150 \sim 160 \text{ 万円}) \div 4 = \text{約 } 38 \sim 40 \text{ 万円}$

4 銘柄に分散投資を行うので 1 銘柄の投資金額は 38～40 万円

単元株の問題で投資金額を全て等しくする事は出来ませんが

出来る限り 38～40 万円に近づくように株数の調整を行なっております。

■ インデックス指数と個別銘柄の売り買い保有割合は 50 : 50

個別銘柄選定のルール

マーケットニュートラル戦略に投資している個別銘柄は、**企業業績が良く ROE が高い銘柄（効率良く利益を出している）の中からテクニカル指標にて株価が堅調な銘柄を中心に裁量判断で選定を行っております。**

一定の条件で自動的に銘柄を間引いた後に残された銘柄の中から選定しているので「システム」と「裁量」の両方を活用した銘柄選定とイメージください。

スクリーニングソフトは、楽天証券のスーパースクリーナーを使っています。

楽天証券で口座を保有していると無料で利用する事が可能です。

■ 楽天証券

<http://investars.jp/about/rakuten.html>

スクリーニング条件については、検証結果を参考にして調整を行ない日々変更しておりますが現状のスクリーニングの条件を下記に記載させていただきます。

基本条件にプラスして、4 銘柄異なるテクニカル条件加えて選定しております。

スクリーニング条件についてはユーザーご自身で設定いただく事をお勧めしますがスクリーニング条件の例としてご参考にしていただければ幸いです。

【スクリーニングの基本条件】

- 投資対象：日経平均採用の 225 銘柄
- ROE(自己資本利益率)：5%以上（効率良く儲けている企業）
- 売上高変化率：0%以上（前年度から売上高が伸びている企業）
- 売上高営業利益率：5%以上（利益率の高いビジネスの企業）

【基本条件にプラスして選定するテクニカル条件】

- 銘柄 1：RSIが高い銘柄

RSI（過去 9 週）60 以上

【買い】 4506 大日本住友製薬 200 株 約定価格 1,661 円

- 銘柄 2：一目均衡雲抜け銘柄

一目均衡表の雲を上抜けている上昇トレンドの銘柄

【買い】 2432 ディー・エヌ・エー 200 株 約定価格 2,245 円

- 銘柄 3：信用倍率が低い銘柄

信用倍率が 0.01~1.5 の銘柄

【買い】 4021 日産化学 100 株 約定価格 3,185 円

- 銘柄 4：安値から上昇率が大きい銘柄

過去 52 週（1 年）の安値から上昇率の高い銘柄上昇率 30%以上

【買い】 9437 NTT ドコモ 100 株 約定価格 2,801.5 円

今回のまとめ

2月からスタートした検証ですがFXロングショートの決済と株式マーケットニュートラルの投資方針を「好業績順張り」と明確になり少し変化のある1ヶ月でした。

今後も運営にて実際に投資を行い会員様の投資に役立つ情報をお届けしたいと考えております。

本レポートの目的は、会員様の投資に役立つ情報をお届けする事ですので会員様からご要望をいただければ弊社側でリスクを取って検証させていただきます。

増田個人としては17業種別ETFを上手くシステムチックなルールでロングショートして勝てないか模索しておりますが、未だに優位性ありそうなルールは見つかっておりません。

ザックリとした感覚としてはその年、成績の悪い傾向にある業種は1年～2年後に大きく返り咲く傾向があるように感じていますが例外も多くまだルール化出来ないのが本音です。

現在は、株式マーケットニュートラル戦略のみ検証となっておりますが今後、新ネタのロングショートも追加してまいりますので楽しみにしてください。

弊社が提供するサービスや情報が会員様ご自身の投資のヒントとなり資産運用にお役立ていただければ参考になれば大変嬉しく思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新規会員様への過去情報の復習

本レポートは毎月 1 回以上、定期的に情報を発行しているため直近ご入会いただいた会員様がレポートを読むと内容が難しい部分が多くあるかと思えます。

下記に過去に配信したレポートやメルマガの内容で本レポートを理解するために重要な部分をまとめております。

新規会員様は、基本的なロングショート戦略の考え方について既存の会員様も復習としてお読みいただければ幸いです。

またサヤトレ LS 会員に発行しているレポートの一部はサヤトレ LS にログインしていただきマイページから過去のレポートを確認することも可能です。

■ サヤトレ LS のマイページ

<https://sayatrade.com/mypage/>

ロングショート戦略は上級者向けの投資戦略です。

サヤトレ LS 会員様で分からない点がございましたらお気軽に運営までお問い合わせくださいませ。

■ サヤトレFX運営へのお問い合わせ

<https://sayatrade.com/contact/>

【ロングショート戦略とは】

ロングショート戦略とは、将来上昇が期待される銘柄を買い（ロング）下落が期待される銘柄を売る（ショート）両建て投資戦略です。

■投資対象を「買う」＝「ロング」

■投資対象を「売る」＝「ショート」

ロングショート戦略は、相場が上昇・下落どちらに動いても市場の変動に左右されない安定した運用が可能です。

一般的には、割安な銘柄を買い（ロング）・割高な銘柄を売る（ショート）構成を基本としますがロングショート戦略は、様々な応用が可能です。

しかし基本構成とは反対に上昇トレンドの銘柄を買い（ロング）下落トレンドの銘柄を売る（ショート）事で利益を狙う事も可能です。

何を買って・何を売るかの選定条件がロングショート戦略では重要です。

買い保有だけの投資の場合、どれだけ魅力的な銘柄に投資していたとしても金融市場全体が下落相場の際には、魅力的な銘柄も一緒に値下がりして損失となってしまいます。

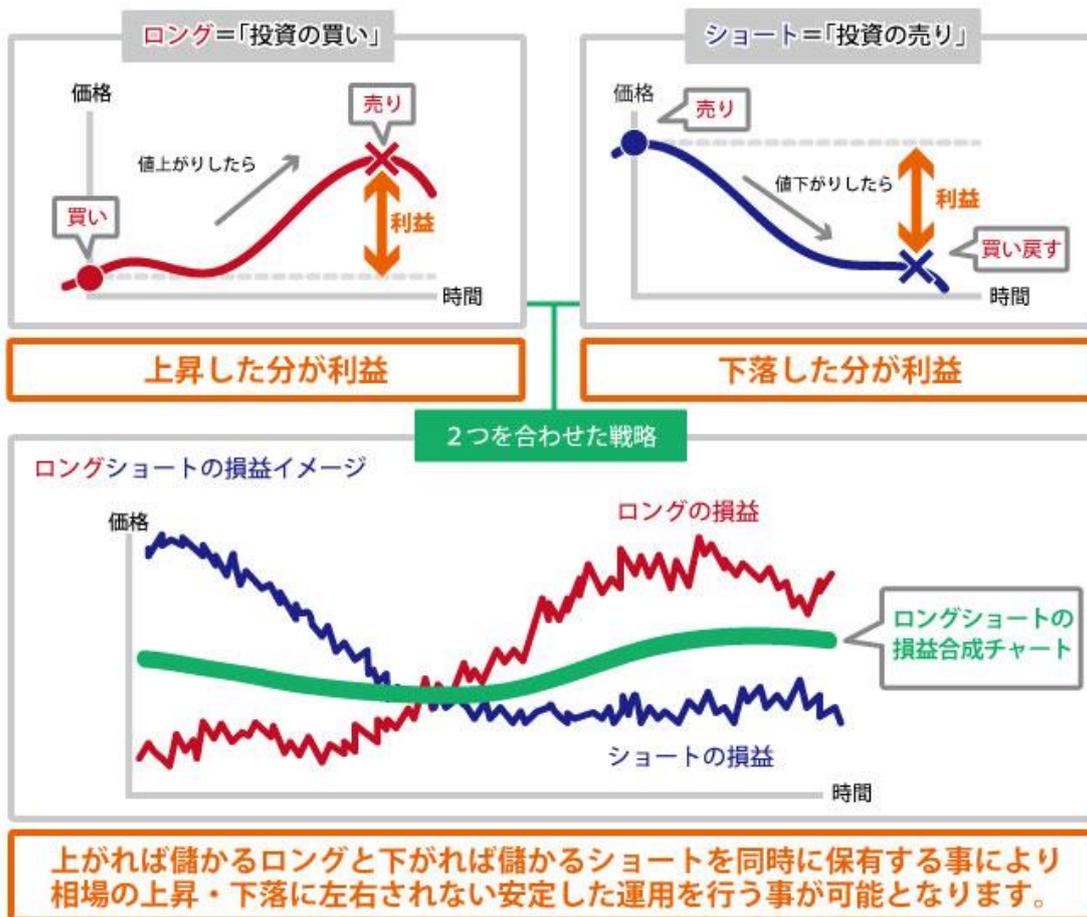
上がれば儲かるロングと下がれば儲かるショートを同時に保有する事によって、日々上下変動する金融市場の波を抑えながら安定して利益を狙うのがロングショート戦略の仕組みです。

- 株価が上がると予想する銘柄を買い（ロング）
- 株価が下落すると予想する銘柄を空売り（ショート）

ロングショート戦略は、個人投資家には馴染みのないニッチな投資戦略ですが海外のプロ投資家の多くが基本戦略として使う伝統的な投資戦略です。

両建て売買の理論は、投資の世界において非常に効果が高くその理論を個人投資家が理解すると投資戦略の幅も大きく広がることでしょう。

■ ロングショート戦略のイメージ図



【マーケットニュートラル戦略とは】

投資の世界では相場の上下を読む事は分からずとも日経平均のパフォーマンスを上回る銘柄（もしくは下回る銘柄）を探ることが出来るのであれば利益を狙う事が可能です。

【マーケットニュートラル戦略のイメージ】

【**売り**】 日経平均 保有比率 50%

【**買い**】 個別銘柄 A 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 B 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 C 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 D 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 E 保有比率 10%

相場全体の値動きとなるインデックス指数（日経平均やTOPIX）を売り
投資家が選定した個別銘柄に分散して仕掛けを行なっています。

上記のように日経平均やTOPIXのようなインデックス指数を売り
個別株の値動きから β （ベータ）と呼ばれる株式市場全体の値動きを除外します。

個別銘柄の値動きから β （ベータ）を除外した部分を α （アルファ）と呼び
マーケットニュートラルは α （アルファ）を積み上げて利益を狙う投資戦略です。

■ 個別銘柄の値動き $-\beta$ （ベータ） $=\alpha$ （アルファ）

マーケットニュートラルで運用を行なっている際にリーマンショックのように金融市場が暴落して 50%も大きく下落したとしましょう。

買い保有の 5 銘柄は、損失となり 50%程度大きく下落している事でしょう。

しかし空売りしている日経平均は 50%程度の大きな利益になっております。

損失と利益が相殺してヘッジされ安定した投資結果となります。

つまり個別銘柄を買い、インデックス指数を売る事によって個別銘柄の変動から暴落という全体の上下変動を差し引いたイメージの投資結果になるのです。

そして暴落しても選定した個別株の 5 銘柄の騰落率（パフォーマンス）が日経平均の騰落率を上回っていれば（アウトパフォーム）利益になります。

極端な話 1 か月に日経平均が半分（-50%）に下落したとしても保有銘柄の騰落率が -49%の場合は、損益の合計は利益になります。

市場全体の上下変動は損益に関係ありません。

この考え方がマーケットニュートラルでは大切であり全ての両建て売買戦略を理解する上に重要な考え方となります。

株式会社サヤトレの WEB サービス

- サヤ取り投資ペア検索ツール 『サヤトレ』

<https://investars.jp/>

- ロングショート戦略分析システム 『サヤトレ LS』

<https://sayatrade.com/>

- サヤ取り投資ペアランキングサイト 『サヤ取りランク』

<https://sayatori.net/>

- 一緒のチャートで会話が出来る！ 『マーケットライブ』

<https://market-live.jp/>

- サヤ取り投資と経済が分かるブログ

<http://sayatore.com/blog/>

<ディスクレーマー及びリスク事項説明>
投資判断の材料・情報提供を目的としたものであり投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の判断は自己責任にて行ってください。また、各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容・有益性を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当方および本情報提供者は一切の責任を負いかねますので御了承ください。